

子どもが子どもを生きること： 多様化時代の愛着とトラウマへのとりくみ

期 日：2018年3月3日（土）・4日（日）

受講対象：医療、看護、保育、教育、治療、相談、指導、福祉などに携わる専門家および学生他

定 員：80名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

受講料：12,000円（税込み） ※昼食は各自おとりください

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付します

東京都豊島区高田3-19-10 ☎ 03-3986-7021

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団

* 日本臨床心理士資格認定協会「短期研修機会（ワークショップ）」
承認番号:W29111
承認期間:平成29年7月1日～平成34年6月30日

日本では今、子どもが子どもとしてのびやかに生きる環境が失われています。かつて日本は、「子どもは子どもでいい」と、貧しくてもまごころで子どもをかわいがり見守る風土がありました。工業化が進んだ現代の日本は、総人口4分の1以上が高齢者で8分の1が子ども、という超高齢少子化社会です。全国で今、親子の絆の希薄さと子どもの遊びの衰退は、不登校、いじめ、引きこもり、心身症や虐待につながっています。DV、虐待や性被害は子どもの脳に癒されることのない傷を残します。その一方、世界では地球の温暖化による生態系破壊や自然災害、局地紛争による大量難民や飢餓、感染などの蔓延により苦しむ子どもが増えています。今国連もWHOも、脳科学研究の知見に基づき、大人が垣根をこえて子どもの幸せをふりかえることが、地球の未来に必要であると考えています。受胎から「最初の1000日間 the first 1000 days」がすべての子どもの大事な脳形成の時期と訴えています。

本講座では、不透明な現代を生きる子どもたちの問題を、的確にとらえ、責任ある解決策を導く上で有効な「ゼロ・プロセス zero process」と愛着理論の概念を紹介します。人が深刻なトラウマに曝された時に心が凍結する「ゼロ・プロセス zero process」の現象は、東日本大震災だけでなく、戦後の日本の家族の未解決のトラウマ理解と世代間伝達の予防に有効です。また困難を乗り越える底力であるレジリエンスは、愛着が基盤です。今、日本の保育や療育現場で蔓延する、愛着障害と発達障害の混同が、親子の発達力を妨げる状況についても考えたいと思います。

本講座の講師は、長年子どもの問題にかかわり、国際的視野をもつ専門家です。「子ども不足に悩む国ニッポン」（大和書房）を20年前に出版したフランス人社会学者M・ジョリヴェ先生、フィンランドのネウボラの意義と本質をとらえる社会学者高橋睦子先生、DVや離婚後面会交流のトラウマから子どもを守る長谷川京子先生、東日本大震災被災者の聴覚トラウマやゼロプロセスに取り組む鈴木廣子先生、郡山被災後子どもケアプロジェクトを世界に発信し、全国の子どもの危機を訴える菊池信太郎先生、性被害やDV被害児の治療に取り組む臨床心理士の酒井道子先生です。大人が垣根を越えて連携し、親子の瞳に光を灯したいものです。 <<企画講師/渡辺 久子>>

【プログラム】

日程	時間	テーマ および 講師(敬称略)
3月3日 (土)	9:30～10:45	子どもが子どもを生きること 渡辺 久子 (LIFE DEVELOPMENT CENTER 渡辺醫院副院長 児童精神科医)
	11:00～12:15	「フィンランドの『未来語り』に学ぶ - 子育て家族に優しい日本になるために」 高橋 睦子 (吉備国際大学 社会福祉政策論 教授)
	13:15～14:30	「子ども不足に悩む国、ニッポン」の今 ミュリエル・ジョリヴェ (上智大学 名誉教授)
	14:45～16:00	DV虐待を含む紛争ケースでの父母の親子面会 長谷川 京子 (みのり法律事務所 弁護士)
	16:00～16:30	<質疑応答>
3月4日 (日)	9:30～10:00	子どもが子どもを生きること 渡辺 久子 (前 掲)
	10:15～11:30	子どもの安心・安全を守る - 離婚後の面会交流をめぐって - 酒井 道子 (慶應義塾大学病院小児科 臨床心理士)
	11:45～13:00	被災を生きる親子のトラウマとレジリエンス 鈴木 廣子 (すずきひろこ心理療法研究室 室長 児童精神科医)
	14:00～15:15	子どもの居場所を創る 菊池 信太郎 (菊池記念子ども保健医学研究所、菊池医院 院長)
	15:30～17:00	<パネルディスカッション> - 子どもが子どもを生きること - パネリスト: 出講講師 (予定) / 司 会: 渡辺 久子

※講義テーマ、時間配分等変更になる場合がございます。予めご了承願います。